

令和7年度前期分授業料免除等申請書類送付書（私費外国人留学生用）

(入学者) 富山大学受験番号
(在学者) 富山大学学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

授業料免除等申請は、この「令和7年度前期分授業料免除等申請書類送付書」に学籍番号（入学者は受験番号）及び申請書類の確認欄に✓を記入し、この送付書と申請書類等を、提出用封筒または角形A4号の封筒に入れて提出すること。

授 業 料 免 除 等 申 請 書 類 の 種 類			依頼先	確認欄
全 申 請 者 が 提 出	授業料免除願			
	家庭調書			
	アルバイト・奨学金状況調		アルバイト先	
	本人の所得課税証明書又は非課税証明書（コピー不可）		市区役所又は町村役場	
	授業料免除申請にかかる事情説明書		指導教員	
同居の家族がいる場合	同居の家族の所得課税証明書又は非課税証明書（コピー不可）		市区役所又は町村役場	
	申請者と同居の家族	・アルバイト状況調（私費外国人留学生家族用） ・源泉徴収票の写（令和6年分）	アルバイト先	
申請者が返済の必要のない奨学金を受けている場合	令和6年度 給付型奨学金受給者	・決定通知書の写（返済の必要のない奨学金の給付月額、期間がわかるもの）	奨学金交付機関等	
給与受給者 （パート・アルバイト含む）	令和6年1月1日以前から継続して勤務している場合	・源泉徴収票の写（令和6年分） ※複数の勤務先がある場合は、すべて提出すること	勤務先等	
	令和6年1月2日以降に就職した場合	・源泉徴収票の写（令和6年分） ・給与支払（見込）証明書（家族用）		
	令和6年1月1日以降に退職し、無職の場合	・源泉徴収票の写（令和6年分） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合）		
	令和6年1月1日以降に退職し、転職（再就職）した場合	・源泉徴収票の写（令和6年分）※前職と現職の両方 ・給与支払（見込）証明書（家族用） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合）		
年金等受給者	公的年金受給者（国民、厚生、共済、恩給）	・源泉徴収票の写（令和6年分）又は ・最新振込金額がわかる通知書（写）	日本年金機構等	
	遺族・障害年金受給者	・最新の改定通知書又は振込通知書の写		
生活保護費等受給者	・保護決定（変更）通知の写			
諸手当・給付金等受給者	児童手当受給者	・受給日、受給者、受給金額がわかる通帳等の写し	市区役所又は町村役場	
	児童扶養手当 特別児童扶養手当受給者	・支給通知書又は受給金額がわかる証明書（写） （最新の金額がわかるもの）		
	失業給付金等受給者	・雇用保険受給資格者証の写	ハローワーク	
	育児休業給付金受給者	・支給通知書又は受給金額がわかる証明書（写） （最新の金額がわかるもの）	勤務先等	
	傷病手当金	・傷病手当金振込通知書（受給分すべて）	健康保険組合等	
給与以外の所得受給者 ・事業（営業等、農業） ・利子 ・配当 ・不動産 ・雑所得 ※個人年金、シルバー人材センターからの支給等 ・譲渡所得等	確定申告の申告者	・令和6年分 確定申告書控の第一表、二表、三表（ある場合のみ）及び添付書類の写（記載内容に別紙のとおりと記載がある場合は別紙も提出）	税務署	
	市民税・都道府県民税の申告者	・令和7年度 市民税・都道府県民税申告書の写	市区役所又は町村役場	
	臨時所得がある者	・生命・損害保険等の一時金、保険の満期金等の支払日及び金額がわかる書類（支払をうけた金額、支払年月日、払込済み保険料が記載されたもの）	保険会社等	
	養育費、親戚等からの援助がある者	・申立書（A4サイズ）を作成		
	その他			

※裏面に続く

※表面から続く

授 業 料 免 除 等 申 請 書 類 の 種 類			依頼先	確認欄
障害者のいる世帯	障害者全員	・ 障害者手帳の写（障害の級別、氏名の記載した部分）	都道府県等	
風水害等により被災した世帯	該当者全員	・ り災（被災）証明書	市区町村・消防署	
	被害額	・ 領収書、請求書等	業者等	
	保険等で補填	・ 支払証明書	保険会社等	
	確定申告の申告者	・ 確定申告書A又はBのそれぞれ第一表と第二表の控の写	税務署申告書類の写	

令和7年度における在籍の証明が必要なため、 4月16日（水）までに提出する書類

4月に就職する者	・ 給与支払（見込）証明書（家族用）	【本学の様式】	勤務先	
----------	--------------------	---------	-----	--

※上記以外にも必要に応じて、書類の提出を求める場合があります。

(3号様式)

令和 7 年 4 月 1 日

富 山 大 学 長 殿

本人	平成 令和									年	月入学			
	学 部 研究科 学 環 教育部				学 科 専 攻 プログラム									
	学籍番号													
	住所(〒 -) (下宿等)													
	フリガナ 氏名 (自署)													
学資負担者	住所(〒 -)													
	フリガナ 氏名 (自署)													
	本人との続柄													

授 業 料 免 除 願

下記により令和7年度前期分授業料の免除を受けたいので、
学資負担者連署の上お願いします。

記

I 金 円也

II 理由（具体的かつ詳細に記入すること）

授業料免除願の記入例

令和 7 年 4 月 1 日

富 山 大 学 長 殿

学生本人・学資負担者のそれぞれが記入すること。

本 人	平成 令和 7 年 4 月入学							
	学 部 理工学		学 部 研究科		学 科 理工学		学 科 専攻 プログラム	
	学 環 教育部							
	学籍番号	2	2	5	C	○	○	○
学 資 負 担 者	住所(〒 930 - 0887) (下宿等) 富山市五福1区○-○-○ 富山ハイツ○号							
	フリガナ 氏名 タテヤマ イチロウ (自署) 立 山 一 郎							
	住所(〒 ○○○ - △△△△) 石川県金沢市○○町○丁目○番○号							
学 資 負 担 者	フリガナ 氏名 タテヤマ タロウ (自署) 立 山 太 郎							
	本人との続柄 父							

私費外国人留学生および独立生計者として申請する者は、氏名欄に自分の名前を記入し、続柄を「本人」とすること。

授 業 料 免 除 願

下記により令和7年度前期分授業料の免除を受けたいので、
学資負担者連署の上お願いします。

記

I 金 267,900 円也

II 理 由（具体的かつ詳細に記入すること）

授業料免除を申請するに至った家庭事情や説明を記入。

（100文字以上、200文字以内）

授業料免除願は学生本人からの提出書類です。学資負担者の立場で記入してある場合は受理せず、提出書類を返却します。

※白紙の場合は書類不備とします。

学生本人が
記入すること。

家 庭 調 書

令和7年4月1日現在

※申請者（学生） 本人が家計の状況をよく理解した上で、太枠の中を記入すること。

① 所 属	学部 研究科 / 学環 教育部		学科(課程) 専攻 プログラム		学籍番号										
フリガナ											通学区分 自宅・自宅外				
② 氏 名											過去の授業料免除状況				
③ 住 所 等	本人住所等 〒 () 番地 () e-mail	(〒)	学資負担者 連絡先 TEL ()	〒 ()	TEL ()	項目		免除結果等							
						R6年度前期		全免・半免・不適用 / 3・申請し							
						R6年度後期		全免・半免・不適用 / 3・申請し							

大学認定(記入)欄	
世帯人員	人
独立生計者	有 ・ 無
生活保護世帯	有 ・ 無
非課税世帯	有 ・ 無
ひとり親	有 ・ 無
多子世帯	有 ・ 無
Jasso給付	有 ・ 無
区分	I・II・III・外・旧

所得に関する事項

	続柄	氏 名	年 齢	職 業	勤務先等	所得 種別	就 職 年 月 (該当欄に○を記入)		給与収入 年金・生活保護費・ 諸手当を含む (年 額)	給与以外の所得 (年 額)	給与収入 (年 額)	給与以外の所得 (年 額)
							R6.1.1 以 前	R6.1.2 以 降				
④ 本 人				富山大学 第 学年	()奨学金	給与奨学金	—	—	—		千円	千円
⑤ 家 族 及 び 所 得	⑥ 父										千円	千円
	母										千円	千円
											千円	千円
											千円	千円
											千円	千円
											千円	千円
											千円	千円
⑦ 別 居 者 に × 印	続柄	氏 名	年 齢	在 学 校 名	学年	通学区分	国立学校就学者のみ記入		申請者の配偶者に所得がある場合のみ記入		就学者 控 除	
							前年度免除結果 前期 後期	授業料 (年額) 千円	勤務先名	給与収入 (年 額) 千円		給与以外の所得 (年 額) 千円
				国立 公立 私立		自 宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免				
				国立 公立 私立		自 宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免				
			国立 公立 私立		自 宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					
			国立 公立 私立		自 宅 自宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					
⑧ 臨時所得	氏名 () 本人との続柄 () 支払金額 () 千円 退職金・保険金・その他 () 支払年月日 年 月 日										算入する 算入しない	
⑨ 生活保護世帯	生活保護費支給証に記載の被保護者氏名 () 世帯人員 (名) 支給額 (支給月額 円 × 12 = 年額支給額 千円)										千円	
⑩ 主たる家計支持者無職・失業	無職・失業の年月 年 月 日 無職・失業の理由 () 生活費の出所 ()											

特別控除に関する事項

⑪ 母子・父子世帯	☐ 生 別(平成・令和 年 月) ☐ 死 別(平成・令和 年 月)(該当する□に✓をつけること。)			該当・非該当
⑫ 障 害 者	氏名() 本人との続柄()	☐ 心身障害 ☐ 原爆被爆		
⑬ 長期療養者	氏名() 本人との続柄()	療養期間(年 月～)	療養費 千円	千円
	氏名() 本人との続柄()	療養期間(年 月～)	療養費 千円	
⑭ 家計支持者別居	単身赴任等期間(年 月～) 特別に支出している経費 千円			千円
⑮ 風水害等の災害	災害の内容(・ 年 月被災) 被害額 千円			千円

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

アルバイト・奨学金状況調

学部・研究科・教育部名	学年	学 籍 番 号						
学 部 研究科 / 学環 教育部								

令和 年 月 日

学生氏名

該当する□に✓をつけること。

1. アルバイト

アルバイトの状況

☐ アルバイトをしている

☐ 令和6年1月1日以前に開始→令和6年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。
☐ 令和6年1月2日以降に開始→下記にアルバイト先で証明を受けること。
☐ 富山大学でTAまたはRAを実施している→アルバイト先の証明は不要。

☐ アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期 年 月～

支給平均月額 円×12ヶ月＝ 年間支給（見込）額 円
(最近3ヶ月の平均月額)

アルバイトの期間及び金額について証明します。

令和 年 月 日

住所

社名 証明担当者

TEL ()

2. 令和6年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

☐ 奨学金を受給している 返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
	☐ 貸与 ☐ 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	☐ 貸与 ☐ 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	☐ 貸与 ☐ 給与		円	年 月	年 月
	(留学生のみ記入) 富山県国際交流 ・ 学習奨励費		円	年 月	年 月
☐ 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
☐ 奨学金を現在受給も申請もしていない（理由）					

3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	円	食 費	円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	円
アルバイト	円	交通費	円
奨学金（ ）	円	学用品	円
奨学金（ ）	円	書籍代	円
その他（ ）	円	その他（ ）	円
合 計	円	合 計	円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。

家 庭 調 書

※申請者（学生）本人が家

私費外国人留学生は、
本国在住の家族等について記入不要

アルバイットの年額および
令和6年4月以降の
給付奨学金の年額を記入

理解した上で、
太枠の中を記入すること。

令和7年4月時点の現住所を記入
※転居した場合は申し出ること

↓ 必ず記入

令和7年4月時点の学年を記入

参考資料や送付書を参照

令和6年1月以降、家族が
受け取ったものを記入し、
証明できる書類を提出
(例) 確定申告書、退職所得
の源泉徴収票、保険金の支払
通知書 など

最新の保護決定（変更）通
知の写を提出

「り災証明書」を提出
事前に担当窓口相談すること

① 所 属		学部	研究科 / 学環	学科	専攻	学籍番号	通学区分		自宅・自宅外																																																																			
フリガナ							過去の授業料免除状況																																																																					
② 氏 名							項目	免除結果等																																																																				
③ 住 所		〒	市町村	区	番	号	〇年度前期	〇年度後期																																																																				
本人住所等		TEL ()	e-mail			連絡先	TEL ()	e-mail																																																																				
得に関する事項 令和7年4月時点の学年を記入 <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>年齢</th> <th>在 学 校 名</th> <th>学年</th> <th>通学区分</th> <th>所得種別</th> <th>就 職 年 月 (該当欄に○を記入)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立山 一郎</td> <td>22</td> <td>立山大学</td> <td>第1学年</td> <td>自宅</td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td>456</td> <td>千円</td> <td>360</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>立山 太郎</td> <td>50</td> <td>自営業</td> <td></td> <td></td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td>1,484</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>立山 花子</td> <td>50</td> <td>パート</td> <td></td> <td></td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td>1,000</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>立山 春子</td> <td>80</td> <td>無職</td> <td></td> <td></td> <td>年金</td> <td></td> <td>1,760</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>立山 ナツ</td> <td>18</td> <td>会社員</td> <td></td> <td></td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>											氏 名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	所得種別	就 職 年 月 (該当欄に○を記入)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	立山 一郎	22	立山大学	第1学年	自宅	給与	〇	456	千円	360	千円	立山 太郎	50	自営業			給与	〇	1,484	千円		千円	立山 花子	50	パート			給与	〇	1,000	千円		千円	立山 春子	80	無職			年金		1,760	千円		千円	立山 ナツ	18	会社員			給与	〇		千円		千円
氏 名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	所得種別	就 職 年 月 (該当欄に○を記入)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)																																																																		
立山 一郎	22	立山大学	第1学年	自宅	給与	〇	456	千円	360	千円																																																																		
立山 太郎	50	自営業			給与	〇	1,484	千円		千円																																																																		
立山 花子	50	パート			給与	〇	1,000	千円		千円																																																																		
立山 春子	80	無職			年金		1,760	千円		千円																																																																		
立山 ナツ	18	会社員			給与	〇		千円		千円																																																																		
別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>年齢</th> <th>在 学 校 名</th> <th>学年</th> <th>通学区分</th> <th>所得種別</th> <th>就 職 年 月 (該当欄に○を記入)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> <th>給 与 入 入 (年 額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立山 二郎</td> <td>19</td> <td>国立大学</td> <td>2</td> <td>自宅</td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td>535</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>国立大学</td> <td></td> <td>自宅</td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>国立大学</td> <td></td> <td>自宅</td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>国立大学</td> <td></td> <td>自宅</td> <td>給与</td> <td>〇</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>											氏 名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	所得種別	就 職 年 月 (該当欄に○を記入)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	立山 二郎	19	国立大学	2	自宅	給与	〇	535	千円		千円			国立大学		自宅	給与	〇		千円		千円			国立大学		自宅	給与	〇		千円		千円			国立大学		自宅	給与	〇		千円		千円											
氏 名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	所得種別	就 職 年 月 (該当欄に○を記入)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)	給 与 入 入 (年 額)																																																																		
立山 二郎	19	国立大学	2	自宅	給与	〇	535	千円		千円																																																																		
		国立大学		自宅	給与	〇		千円		千円																																																																		
		国立大学		自宅	給与	〇		千円		千円																																																																		
		国立大学		自宅	給与	〇		千円		千円																																																																		
生活保護世帯 氏名 (立山 春子) 本人との続柄 (祖母) 支払金額 (1,000 千円) 退職金・保険金・その他 () 支払年月日 令和 〇 年 11 月 1 日 生活保護費支給証に記載の被保護者氏名 () 世帯人員 (名) 支給額 (支給月額) 円 × 12 = 年額支給額 (千円)																																																																												
⑩ 主たる家計支持者無職・失業 無職・失業の年月 生活費の出所 () 無職・失業の理由 ()																																																																												
特別控除に関する事項 ⑪ 母子・父子世帯 口生 別 (平成・令和 年 月) 口死 別 (平成・令和 年 月) (該当する口に✓をつけること。) ⑫ 障 害 者 氏名 () 本人との続柄 (祖母) 口心身障害 口原爆被爆 氏名 () 本人との続柄 () 口心身障害 口原爆被爆 氏名 () 本人との続柄 () 療養期間 (年 月) 療養費 千円 氏名 () 本人との続柄 () 療養期間 (年 月) 療養費 千円 単身赴任等期間 (年 月) 特別に支出している経費 千円 風水害等の災害 災害の内容 () 千円																																																																												

○給与収入・給与以外の所得の記入要領

「給与収入」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与収入	・ 令和6年1月1日以前から継続して勤務している場合 →源泉徴収票の「支払金額」
	・ 令和6年1月2日以降に就職・転職（再就職）した場合 →学生支援課が給与支払（見込）証明書（家族用）を確認し、記入します。
	・ 令和6年1月1日以降に退職し、無職の場合 →勤務先欄、給与金額とも記入不要
年金等	・ 源泉徴収票の「支払金額」もしくは最新の振込通知書に記載の年額
生活保護費	・ 保護決定（変更）通知の額×12（年額を算出）
諸手当、給付金	・ 児童手当→最新の手当額×12（年額を算出）
	・ 児童扶養手当、特別児童扶養手当 →最新の手当額×12（年額を算出）
	・ 失業給付金→基本手当日額×所定給付日数
	・ 傷病手当金→受給分合計額
「給与以外の所得」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与以外の所得	・ 令和6年分確定申告書控の第1表のそれぞれの「所得金額」
	・ 令和7年度市民税・都道府県民税申告書のそれぞれの「所得金額」
所得時	・ 退職金
	・ 保険の一時金
	・ 養育費の年額
	・ 親戚等からの援助の年額
・ 家庭調書に全員を記入	
・ 4月1日時点で「別生計」になる者は、健康保険証（写）と住民票を提出	
※別生計とは、自分で生計を立て、扶養にも入っておらず、かつ自宅と別の住所に住んでいること。	
・ 令和6年1月2日以降就職の場合は、給与支払（見込）証明書 を提出	
・ 退職の場合は、退職金等に関する申立書を提出	

令和6年分源泉徴収票の例

令和6年分 給与所得の源泉徴収票

石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号

給与・賞与 3,000,000

令和6年分 公的年金等の源泉徴収票

住所または居所 氏名 生年月日

区分 支払金額 源泉徴収税額

法203条の3第1号適用分 円 円

法203条の3第2号適用分 円 円

法203条の3第3号適用分 円 円

法203条の3第4号適用分 1,000,000 円 円

年金の種別 本人 控除対象配偶者の有無等

特別障害者 特別障害者 特別障害者 有 無 老人控除対象配偶者の有無

控除対象扶養親族の数 本人以外の障害者の数 社会保険料の金額

特定 老人 その他 特別 その他 円

「家庭調書」(抜粋)

⑤家族及び所得

職業	勤務先等	所得種別	就職年月 (該当欄に○を記入)		給与収入 年金・生活保護費 諸手当含む (年 額)	給与以外の所得 (年 額)
			R6.1.1 以前	R6.1.2 以降		
会社員	(株)〇〇〇	給与	○		3000千円	←千円
	〇〇〇年金	年金			1000	←千円

アルバイト・奨学金状況調の記入例

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

アルバイト・奨学金状況調

記入日

令和 年 月 日

所 属	学 年	学 籍 番 号
学部 研究科 / 学環 教育部		記入しない

学生氏名

該当する□に✓をつけること。

1. アルバイト

アルバイトの状況

記入日現在で継続している場合記入。

- ☒ アルバイトをしている
- ☐ 令和6年1月1日以前に開始→令和6年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。
- ☒ 令和6年1月2日以降に開始→下記にアルバイト先で証明を受けること。
- ☐ 富山大学でTAまたはRAを実施している →アルバイト先の証明は不要。
- ☐ アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期 令和 6 年 5 月～	
支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額)	38,000円×12ヶ月＝年間支給(見込)額 456,000円
この年額を家庭調書の「給与収入」欄に記入。	
アルバイトの期間及び金額について証明します。	
住所 富山県富山市〇〇町〇〇〇〇	令和〇〇年 〇 月 〇 日
社名 (株) 〇 〇 〇 〇	証明担当者 〇 〇 〇 〇 (印)
TEL (〇 〇 〇) 〇 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇	必ず証明印をもらう。

2. 令和6年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

☒ 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	☒ 貸与 ☐ 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	51,000円	R5 年 4月	R9 年3月
	☐ 貸与 ☐ 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	☐ 貸与 ☒ 給与	〇〇財団	30,000円	R5 年 4月	R9 年3月
	(留学生のみ記入) 富山県国際交流 ・ 学習奨励費	円	年 月	年 月	
☐ 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
☐ 奨学金を現在受給も申請もしていない (理由)					

3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	30,000円	食 費	45,000円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	52,000円
アルバイト	38,000円	交通費	1,000円
奨学金(日本学生支援機構)	51,000円	学用品	5,000円
奨学金(〇〇財団)	30,000円	書籍代	2,000円
その他()	円	その他(医療費 等)	44,000円
合 計	149,000円	合 計	149,000円

※収入合計と支出合計は金額が一致するように記入。自宅通学の場合も記入必要。

令和 7 年度前期分授業料免除申請にかかる事情説明書（私費外国人留学生用）					
平成 令和 年度入学 学部 研究科/学環 教育部 学籍番号	フリガナ				
		アルファベット			
			氏 名		
			生年月日		
		年 月 日生 （ 歳）			
国 地 域			本人住所 〒 —		
			TEL () 携帯 — —		
令和 6 年 1 月 1 日時点で、日本に入国していましたか。 （一時帰国は除く）			はい いいえ (いずれかを○で囲んでください)		
本国家族からの送金が困難な事情や日本へ入国時と現在で状況がどのように変わってきているかを具体的に記入してください。 免除願と別の内容で					
所見・推薦書	学力基準である標準修得単位数（申請する際に修得しておかなければならない単位数）を満たしていることを確認しましたので、以下のとおり推薦します。				
	学業への取り組み態度、人物評価、家計状況等を記入してください。				
所属学部等		職名		教員氏名	⑩

富山大学授業料免除添付書類

令和 7 年度前期分授業料免除申請にかかる事情説明書（私費外国人留学生用）													
平成 令和 ☐ 年度入学		フリガナ		○○ ○○									
学部 ☐ ☐ 研究科 ☐ 学環 ☐ 学部 教育部		アルファベット		○○○ ○○○									
学科 専攻 プログラム		氏 名		○ ○○									
学籍番号 <table border="1" style="width: 100%; height: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>										生年月日		○○○○年 ○月 ○○日生（○○歳）	
国 地 域		本人住所 〒 930 — 0887 富山市五福 1 区○-○ 富山ハイツ○○号室 TEL 076（ 445 ）1234 携帯 090 — 1234 — 5678											
令和 6 年 1 月 1 日時点で、日本に入国していましたか。 （一時帰国は除く）			☒ はい ☐ いいえ （いずれかを○で囲んでください）										
本国家族からの送金が困難な事情や日本へ入国時と現在で状況がどのように変わってきているかを具体的に記入してください。 免除願と別の内容で													
本国家族から送金が困難な事情													
父は定年になり年間○万円の年金生活、工場に勤務する母の年収は年間○万円であり、兄は専門学校へ通学しているのので、親から私に送金することはできません。													
日本へ来た時と現在でどう状況が変わってきているか													
留学前、私は会社で働いて来日する経費を貯金していたのですが、来日 1 年目の東京での語学研修でほとんど使ってしまいました。奨学金とアルバイトが生活費の大部分ですが、時間的制約から、アルバイトはこれ以上できません。奨学金も 2 つもらい、これ以上は望めません。													
所 見 ・ 推 薦 書	学力基準である標準修得単位数（申請する際に修得しておかなければならない単位数）を満たしていることを確認しましたので、以下のとおり推薦します。												
	学業への取り組み態度、人物評価、家計状況等を記入してください。												
	所見・推薦書の欄については、指導教員に記入を依頼してください。 （単位数も必ず確認してもらってください）												
所属学部等		職名		教員氏名									